

# マリンライフ

[ Vol. 283 ]

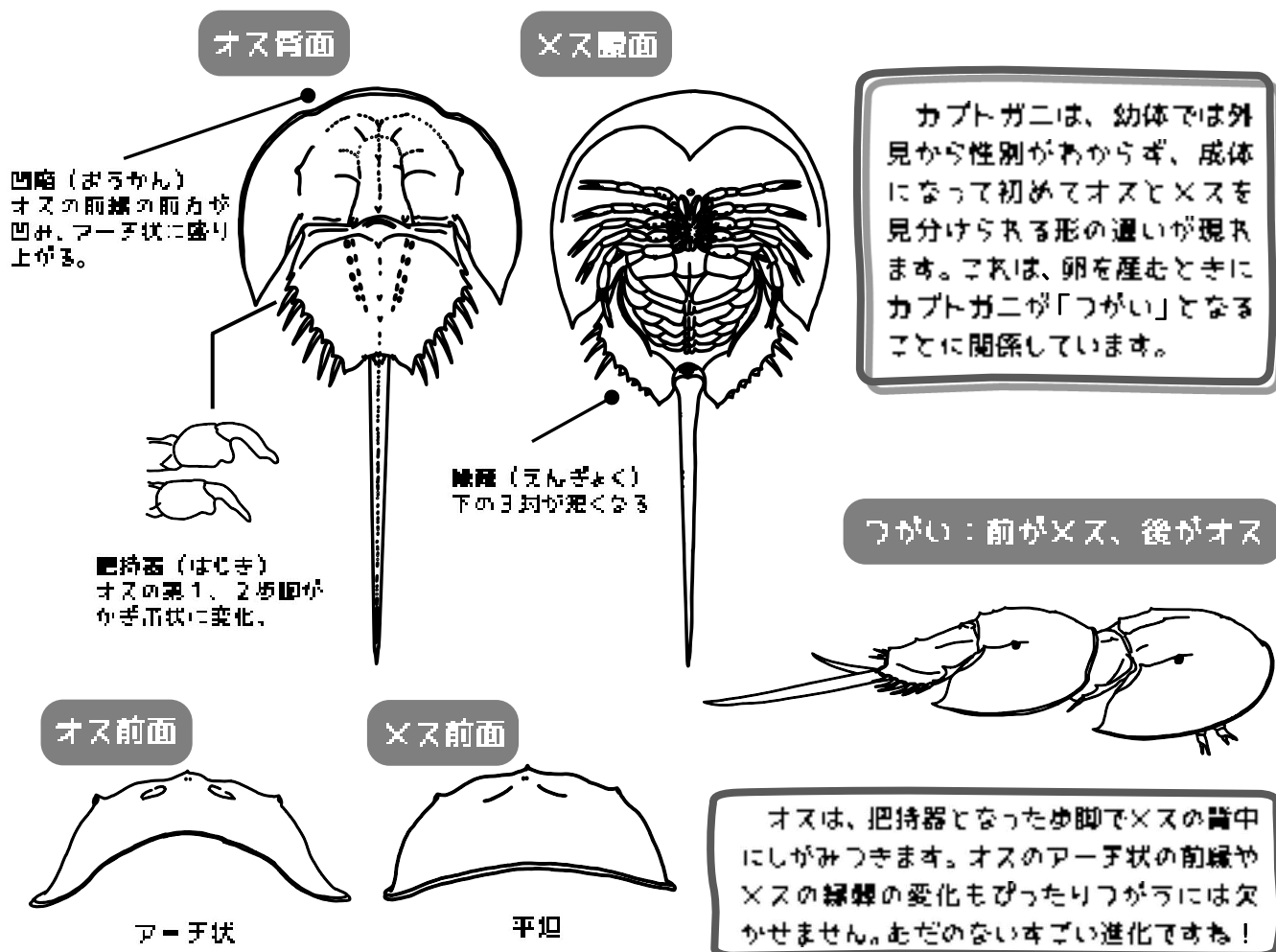


## 大人になる瞬間！

さとうみ科学館で飼育中の個体が、幼体（こども）から成体（大人）になるための脱皮をしている瞬間です。カブトガニの前の方の殻が裂けて中から新しい体が出てきています。左側が大人になったカブトガニ本体（メス）で、右側が脱皮殻です。今年は、成体のカブトガニが多く見つかった年でした（詳しくは2ページ）。そこでまずは、成体の体の特徴を見てみましょう。

（写真：9月2日撮影）

## カブトガニのからだのつくり（成体）



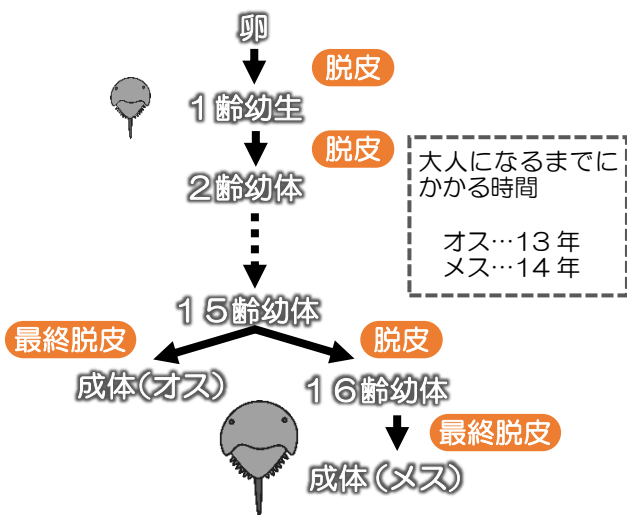


# カブトガニの調査報告(2025)



さとうみ科学館では、カブトガニの生息状況調査を行っています。今年は、3月中旬～10月中旬までフィールド調査を行い、生体30個体（新規25個体、再捕獲5個体）、脱皮殻14個体分のデータが得られました。今回、定点調査を行っているフィールドで得られた脱皮殻（7年間291個体分）に関するデータをまとめたので、その結果を報告します（図1）。

## カブトガニの成長



一度脱皮を行なうごとに、1 齢 2 齢、、、と齢数が増えていきます。小さい時は1年に数回、大きくなると1年に1回脱皮をします。

昨年もこのマリンライフで調査結果について報告しました（Vol.271 参照）が、今年はどういう調査結果になったのでしょうか。2019年に脱皮を行い9 齢幼体から10 齢幼体になった集団は、昨年15 齢幼体まで順調に成長しました。一般的に、カブトガニの15 齢以降の成長は、オスとメスで少し異なります。オスは、15 回目の脱皮を終え、16 齢になると大人のオスになります。メスは、さらにもう一回脱皮が多く（オスよりも一回り大きい）、16 回目の脱皮を終えて17 齢になると大人のメスになります。最後の脱皮を終えた個体は、オスとメスで形態が異なり、外見からオスとメスの見分けがつくようになります。江田島湾のカブトガニは、昨年15 齢幼体まで成長しているため、順調に成長していれば、今年は16 齢となる年です。つまり、15 齢幼体の脱皮殻が見つかり、成体のオスと来年メスになる16 齢幼体が出現すると予想されます。

## 今年の調査結果発表！

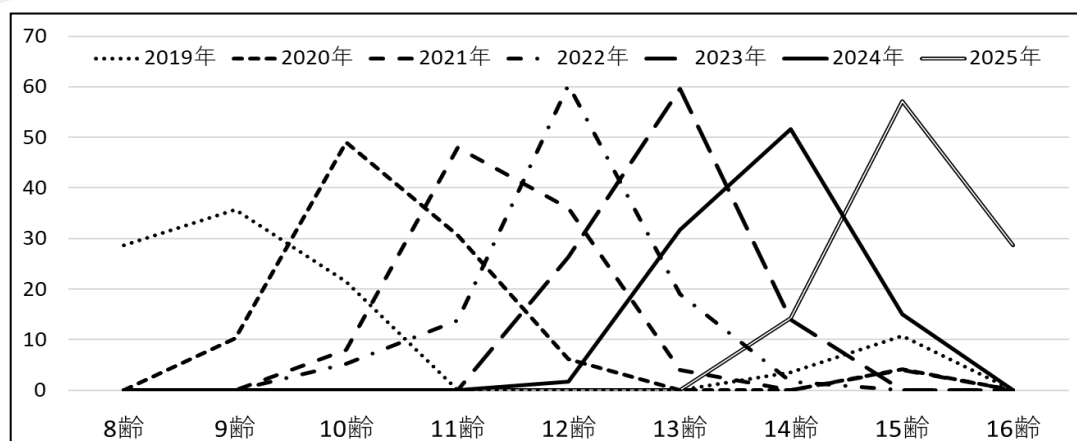


図1. 過去7年間で得られた脱皮殻の齢数別割合 (%)

今年の調査で見つかったカブトガニは生体（生きている個体）が30個体、脱皮殻が14個体分でした。齢数に注目してみると、生体は30個体のうち、およそ9割が16 齢（成体のオス16 個体、幼体10 個体）。脱皮殻は14 個体分のうち、およそ6割が15 齢となり、これまでの調査結果と予想を裏付ける結果となりました。一方で、脱皮殻の確認数は昨年の60 個体分だったのに対し、今年は14 個体分のみの確認となりました。脱皮殻が少なかった理由としては、干潮時に調査できるエリアよりも深い所で脱皮しているからだと考えられます。実際、フィールドでも、多くの脱皮殻が干上がった陸ではなく潮下帯の水中から見つかっています。これは、大人に近づくにつれ、生活場所を深い海へと移るといわれているカブトガニの生態とも一致しています。来年は、16 齢の幼体が脱皮をして大人のメスへと成長する年になります。そして、産卵行動が確認でき始めるのではないかと期待しているところです。

# イベント情報

## ◆学びの館「市民ギャラリー」◆

令和6年度「ふるさとの自然」作品コンクール・入賞作品展

# 「さとうみイラスト水族館」

開催期間：令和7年12月3日(水)～令和8年1月30日(金)

開館時間：9：30～16：30

休館日：火曜・祝日

開催場所：学びの館

(江田島町中央一丁目3番23号)

入場：無料

学びの館「市民ギャラリー」で、令和6年度「ふるさとの自然」作品コンクールで入賞した作品を展示する「さとうみイラスト水族館」を開催します。江田島市内の小中学生が描いた繊細でダイナミックな作品がいっぱい！今年度もコンクール作品募集中なので、今から絵を描く人も参考にしてみてもは！



## ◆ 第209回自然観察会 ◆

# 早朝いきもの観察会！

毎年恒例の早朝観察会！冬は早朝に潮がよく引くため、朝早くの集合ですが、真っ暗の海で、生き物たちをたくさん見つけます。眠っている魚たちに会えるかも！寒さや眠さに負けず、一緒に早朝の海を楽しみませんか？

日時：令和7年12月7日(日)

時間：3：30～7：00

(干潮 4：44 -25cm)

集合場所：さとうみ科学館

観察場所：早瀬大橋下

申込：LINE 申込フォームまたは、電話で事務局へお申し込み下さい。

申込期限：12月4日(木)



LINE 申込フォーム

持ちもの：長靴、軍手、防寒具、タオル  
懐中電灯(ヘッドライトなど)

### ☆当日の日程☆

- 午前3：30 集合・ガイダンス(移動)
- 4：00 観察開始
- 5：30 観察終了(移動)
- 6：00 さとうみ科学館で休憩  
(温かいもので一服)
- 6：30 元気のある人は生き物の分類
- 7：00 解散



## ◆館内展示リニューアル中◆



# 館内展示をリニューアル



ただいま館内の展示を順番にリニューアルしています。

## 1 階エントランス

玄関を入ってすぐの廊下には、江田島の自然や当館の活動を紹介する新しい掲示物を並べました（右上写真）。来館された方が「へえ、さとうみ科学館ってこんなところなんだ」と感じられる、内容になっています。



## 2 階廊下

2 階には、カブトガニの常設展示を準備中です。これまで収蔵庫で保管していた標本の中から選りすぐりを展示し、実物をじっくり見ながらカブトガニの体のつくりや成長について学ぶことができるコーナーにする予定です（右下写真）。



新しくなった展示とともに、江田島の自然をもっと身近に感じられる場所にする予定ですので、ご期待ください！

## 潮見表 12月の観測に適した日時（干潮時刻と潮位）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
時分	0:07	0:58	1:44	2:29	3:14	3:59	4:44	5:30	6:17	7:05	7:56	8:52	10:01	11:22	0:12	
cm	89	53	20	-6	-23	-29	-25	-11	11	39	71	102	129	145	94	
時分	12:24	13:24	14:17	15:05	15:52	16:38	17:25	18:12	19:02	19:55	20:55	22:03	23:13		12:35	
cm	109	105	102	103	108	115	121	127	132	134	133	126	113		148	
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
時分	1:00	1:40	2:17	2:52	3:26	4:01	4:37	5:14	5:53	6:32	7:15	8:03	9:00	10:14	11:44	0:17
cm	74	55	40	28	19	14	12	14	20	30	48	71	98	124	138	47
時分	13:32	14:18	14:56	15:32	16:06	16:40	17:16	17:54	18:34	19:17	20:04	20:58	22:01	23:11		13:03
cm	145	139	133	128	124	0:00	119	117	116	113	109	102	90	71		141

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。

令和7年 潮汐表（海上保安庁）から

潮位30cm未満（白抜きの文字）が調査に適しています。

## 事務局だより

### ●瀬戸内海的环境保全に係る講演を実施

10月23日、瀬戸内海沿岸の環境行政職の方を主な対象とした公益社団法人瀬戸内海環境保全協会主催の「瀬戸内海環境保全トレーニングプログラム研修」が、さとうみ科学館を会場に開催されました。主催者によるカキの生育や海洋プラスチックごみの問題について講義の後、野外で干潟の生き物の観察を行いました。



### ●年末年始のお知らせ

年末は12月26日（金）まで、年始は1月5日（月）からの開館となります。

### ●休日開館日（12月）のお知らせ

12月も毎週土曜日を開館します。開館時間は9:30-17:00（入館は16:30まで）です。詳しくは事務局までお問い合わせください。

江田島市教育委員会 教育部 大柿自然環境体験学習交流館

**さとうみ科学館**  
Satoumi Science Museum (SSM)

〒737-2214

広島県江田島市大柿町深江1073番地1

TEL: (0823) 57-2613

FAX: (0823) 40-3100

メール: satoumimail@yahoo.co.jp

HP: 『さとうみ科学館』で検索

## ◆事務局スタッフ◆

館長: 西原 直久

専門員: 平山 良太

主任: 鎌崎 賢三

運営指導員: 下中 茂樹

支援員: 木村 さつき

野口コーディネーター: 向井 綾香



（友の会会員）

シニア 182名

ジュニア 143名

◆あとがき◆ 脱皮は、体の細かな部分まで丁寧に殻を脱がなければならず、自由に動けない上に体力を使うため、途中で死んでしまうこともあ  
る一大イベントです。9月2日は、そんな脱皮（しかも最後の脱皮）に初めて立ち会うことができ、とても感動しました。（鎌崎）